

いばらきには本を読める場所がいっぱい!

大阪府内でも最大規模の図書館である茨木市立中央図書館をはじめ、まちライブラリーの登録も多く、本を楽しむ場所がいっぱいあります。これは川端康成をはじめ数々の文豪にゆかりがある茨木市ならではの、ぜひたくさんめぐってみよう!

01 茨木市立中央図書館

茨木市畑田町1-51
開/火~金曜9時半~20時、
土日祝・第1月曜・12月28日は9時半~17時
第2・3・4・5月曜休館(祝日と重なる場合は開館し、
その翌々日が休館)、年末年始、資料点検期間
TEL.072-627-4129 <http://www.lib.ibaraki.osaka.jp/>



72万冊の書籍をはじめ雑誌やCDなども豊富。相談カウンターや各種データベースもあり、調べものにも便利。広々とした館内では、ゆっくりとした時間を過ごすことができる。



図書館の新たな魅力、発見!

● イバハル-10代の本棚-

中央図書館1階フロアと穂積図書館2階フロアに、10代向けの本を集めたイバハルコーナーができました。パッと見て本が探しやすいコンパクトサイズのコーナーには、【勉強・受験】【就職・職業】【部活】【小説】など、中高生が、今ほしい本を集めています。(イバハルとは、「茨木」と、青春の訓読み「アオハル」から作った造語です)



● ビジネス書の要約が読めます!

中央図書館のWi-Fi環境を利用して、ご自身のスマホ・パソコンから、ビジネス書の要約が読めるサービス「フライヤー」を導入しています。(詳細はP.30を参照)館内に設置しているQRコードを読み込むだけで、登録不要で、1冊10分程度にぎゅぎゅっと凝縮された知識を吸収することができます。お仕事に、生活にどうぞ活用ください!



まちライブラリーとは?

まちのカフェやお寺、病院などに本を持ち寄り、本を通じて「人の縁」をつむいでいく活動です。全国約600カ所に広がっています。

02 まちライブラリー@cafe なかちよ

茨木市松ヶ本町3-16
営/7時~19時(ランチは11時半~売切れ次第終了)
日曜・祝日定休 環境省推奨高機能換気設備設置店、
テラス席あり(テラス席のみ喫煙可)
TEL:072-624-1980
<https://machi-library.org/where/detail/4221/>



木の温もりが感じられる落ち着いた店内で、スペシャルティコーヒーや自家製スイーツが楽しめるカフェ。「ふと触れていただきたい絵本や読みやすい本」を選書しており、ほっこりとしたひと時を過ごせる。日替りおばんざいランチも人気。

03 まちライブラリー@巡りごはん いろは

茨木市駅前1-3-9 2階
営/ランチ11時~LO14時、ディナーは木・金
(ランチ・ディナーともに要予約 ※詳細はHP参照) 不定休
TEL:072-648-5950
<http://machi-library.org/where/detail/2363/>



JR茨木駅前にて身体に優しい「薬膳のお粥ランチ」を提供しているお店。店内は落ち着いた雰囲気、健康や食に関する本が揃う。(※飲食利用に限る)また、月に4回ほど、初心者でも分かりやすい「薬膳、健康セミナー」も開催している。

その他のまちライブラリー情報は上記QRコードを読み取ってチェックできます!

CAFE BOOK

ドリンクやスイーツと一緒に読書を楽しみたくなる、ゆったりと過ごせるカフェをご紹介します。

05 BONO cafe (ボノカフェ)

茨木市水尾2-14-35
営/11時~16時(LO.15時)
日曜・祝日定休
TEL.072-632-5124
[Instagram.com@bono.cafe](https://www.instagram.com/bono.cafe)



新鮮な地元野菜と手作り素材を使った、健康的なオーガニックランチ。



水尾にある自然派カフェ。格子戸から自然光が差し込む木目調の落ち着いた店内では、カラダに良い自然食ランチが食べられる。パティシエのオーナーが地元素材を活かしてつくるスイーツもファンが多い。

04 季節のごはんカフェ satono(サトノ)

茨木市新中条町1-30 1F
営/11時~17時
(食事LO16時、喫茶LO16時半)
※予約可
TEL.072-627-8222
[Instagram@satono.cafe](https://www.instagram.com/satono.cafe)



季節によって内容が変わる地元旬菜たっぷりのsatonoごはん。



間伐材でハンドメイドされたテーブルや椅子、里山の風景画も飾られているので市街地に居ながら里山の雰囲気が味わえる。地元茨木で採れた野菜やお米を使った地産地消ランチと一緒に読書を楽しんで。

茨木市が誇る著名小説家の記念館

“文学のまち”茨木には、貴重な資料や作品が展示されている記念館があります。それぞれで、小説家たちの作品に思いを馳せてみてください。

宮本輝ミュージアム



宮本輝氏は追手門学院大学の第一期卒業生で、1977年のデビュー作「泥の河」で第13回太宰治賞、翌年「螢川」で芥川賞を受賞した、現在も活躍する作家。愛用品や直筆原稿などが常設展示されているほか、作品の世界を取り上げた企画展を開催し、宮本作品の世界に没れるミュージアム。

茨木市西安威2-1-15(追手門学院大学附属図書館内)
TEL.072-641-9638

休館日/HPでご確認ください 「宮本輝ミュージアム」で検索
※新型コロナウイルス感染拡大のため、現在は休館中。再開については決定次第HPにてお知らせ。

富士正晴記念館



茨木市安威に住んでいた詩人・小説家。詩や小説以外にペン画や書画、版画、陶芸にその才能を発揮した。生前に収集されていた文学資料や自作の絵画などを収蔵、展示。文化勲章受章者らと酒を交わしたとされる書斎が復元されている。7月31日(土)まで企画展示「二人の詩人-富士正晴と伊藤静雄」開催。

茨木市畑田町1-51(中央図書館併設) TEL.072-627-7937
開/9時半~17時

休館日/第2・3・4・5月曜日(祝日と重なる場合は開館し、その翌々が休館)、
年末年始、中央図書館の資料点検期間

川端康成文学館



3歳から18歳までを茨木で過ごしたノーベル賞作家・川端康成の生い立ちや業績、作品の舞台となったゆかりの地などを紹介。小中学校時代の習字や作文、祖父母と暮らした家の模型など、「ゆかりのふるさと」の文学館ならではの資料は必見。6月5日(土)からは企画展「古都をかける川端康成」を開催する。さらにイベント当日の5月23日(日)は、来館者にプレゼントあり。

茨木市上中条2-11-25 TEL.072-625-5978
開/9時~17時

休館日/火曜日、祝日の翌日、12月28日~翌年1月4日